

# 令和 6年度予算見積調書

課室名: 畜産安全課  
 担当名: 家畜衛生担当  
 内線: 4174

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P39	特定家畜伝染病防疫体制強化事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	家畜保健衛生費	家畜伝染病予防対策費		
事業期間	令和 3年度～ 令和 7年度	根拠法令	家畜伝染病予防法		針路	12	儲かる農林業の推進		SDGsゴール 2	
					分野施策	1202	強みを生かした収益力のある農業の確立		SDGsターゲット 2-3, 2-4	
1 事業概要	防疫体制を強化し、アフリカ豚熱や口蹄疫等の特定家畜伝染病の発生防止と発生時の対応力の強化を図る。 ア 防疫体制強化情報収集事業 5,378千円 イ 発生時防疫対応費 24,861千円			5 事業説明 (1)事業内容 ア 防疫体制強化情報収集事業 5,378千円 家畜衛生情報共有システムの新システムへの移行、情報更新及び保守管理 イ 発生時防疫対応費用 24,861千円 疾病発生時に備えた初動対応費  (2)事業計画 ア 防疫体制強化情報収集事業 家畜衛生情報共有システムによる県内全農家情報の管理 イ 発生時防疫対応費用 8件  (3)事業効果 ア 農家情報をクラウドシステム上に一元管理することで、各家畜保健衛生所と県庁間で常に最新情報の共有を可能とする。 【事業実績(アウトプット)】農家情報の更新及び共有 1,296戸 【成果指標(アウトカム)】特定家畜伝染病防疫指針で示された目標時間内の防疫措置完了 イ 疾病発生時の迅速な防疫対応が可能となる。 【事業実績(アウトプット)】初動対応事例数 8例 【成果指標(アウトカム)】特定家畜伝染病防疫指針で示された目標時間内の防疫措置完了  (4)県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 疾病発生時は協定団体等と協力して防疫措置を実施する。						
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10) イ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用) (区分)農業行政費(細目)食品安全費 (細節)家畜保健衛生費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×5人									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
		諸収入								
決定額	30,239	800						29,439	924	
前年額	29,315	800						28,515		

## 事業内訳書

事業名	特定家畜伝染病防疫体制強化事業		
単位事業名	防疫体制強化情報収集事業	予算額	5,378千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	5,378	△62	
合計	5,378	△62	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	152	△56	県内旅費（情報更新のための農場等立入）
需用費	2,354	△131	農場立入り用防疫資材
役務費	1,470	△437	情報共有用通信機器通信費
委託料	1,221	891	家畜防疫マップシステム新システム移行業務委託 家畜防疫マップシステム保守業務委託
負担金、補助及び交付金	181	△329	フォークリフト技能講習料
合計	5,378	△62	

単位事業名	発生時防疫対応費	予算額	24,861千円
-------	----------	-----	----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	800	0	家畜防疫員派遣旅費負担金
一般財源	24,061	986	
合計	24,861	986	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	800	0	県外旅費（家畜防疫員派遣）
需用費	2,650	0	殺処分用炭酸ガス、農場消毒用石灰
役務費	15,360	986	発生時初動費（資材運搬、埋却準備、消毒ポイント準備）
委託料	6,051	0	発生時初動費（作業員輸送準備）
合計	24,861	986	